

	学習活動	指導上の留意点	個への支援と評価 (★手立て☆評価)			支援員の動き (C児)
			A (2年生)	B (5年生)	C (6年生)	
つかむ	1 学習の課題を設定する。	○ 前時の振り返りを行い、めあてと流れを確認する。	★ 問題把握がしやすいように、絵を提示する。			○ 掲示物に注目するように支援する。
	ちょうどよいくびかざりのながさをしらべよう。					
考える	2 ちょうどよい長さはどれか確かめる。	○ 3本のくびかざりからちょうどよい長さを見つける。	○ 実際に首にかけさせてみて、長さを確かめさせる。			○ 首にかけ動作を支援する。
深める	3 長さを比べる。	○ 輪を1本の紐状にし、「長い」「短い」を直接比較する。	★ 比較作業の見通しが立つよう写真や絵カードを掲示し言葉かけする。 ☆ 「はしをそろえる」「まっすぐ」に気をつけて直接比較をすることができる。	★ 比較作業の見通しが立つよう写真や絵カードを掲示し言葉かけする。	★ 直接比較の作業の見通しが立つよう写真や絵カードを掲示し言葉かけする。 ☆ それぞれの長さを指でなぞって「長い」「短い」を実感することができる。	○ C児が、一人でなぞれるように声かけする。  ○ 次の動きが分かりやすいように言葉かけをする。
	4 長さを測る。	○ 間接比較で長さを調べる。	○ マス目ものさしを提示し、1センチ間隔で測らせる。  ★ マスにシールを貼りながら数え、シールに数字を書いて確かめる。	○ 1mものさしか30cmものさしを選んで測らせる。  ★ 1ミリメートルごとに色分けして、数えやすくする	○ 棒で何本分かをを使って測らせる。  ★ 棒1本を10cmにし、数えやすくする。	
まとめる・ふりかえる	5 学習のまとめをする。					○ 黒板に注目するように支援する。  ○ ぼうを並べる支援をする。
	6 評価問題 7 本時の学習を振り返る。		☆ マス目ものさしで長さを測ることができる。【技能】	☆ ものさしで正しく長さを測定できる。【技能】	☆ 長さに合わせてぼうを並べようとする。【関心意欲態度】	
		今日は、ちょうどよいくびかざりの長さをしらべました。ものさしやぼうをつかってしらべました。同じ長さのくびかざりを作りたいです。				